



あっ！
ヒロ君！

…今日も放課後…
プールでねっ！

…

そう…
外面は完璧なんだ

彼女の名前は
前川真琴
幼い頃からの幼馴染だ

成績優秀・スポーツも得意で
学級委員長を務め
生徒会の役員もしている

男子女子問わず
誰からも好かれていて
素行も良好

俺とは正反対の
眩しい存在だ

幼馴染の女の子を
水責めセフレにしてみた！

放課後

ふう…
冷たっ…

放課後になると
真琴は俺をプールに呼び出しながら
意にも介さずに
プールの中を泳ぎ続ける

く…こいつはっ…





あれ?
いたんだ

いるわ!

今日もずっと私の事
考えてたでしょ

考えてねーよ!

ふーん：
おちんちん
カチコチなのにな?

そう言うと
真琴はそのまま水の中に
潜ってみせる



プププ...

くあっ
あっ
...
!!

水中の真琴は
優等生とは
とても思えない姿を
晒していた



ガボボ...

びん

びん

びん

く...この...
淫乱娘がっ...!



彼女は
息継ぎすらしようとせず
一心不乱にフェラを
続けている



ガボガボ...

ちよ...もうっ
射精るっ!!

びん...

びん

びん

ドゴッ
ドゴッ
ドゴッ



ゴゴゴ...

もう3分は経っただろうか
真琴は平然と
口の中に残った精液を
飲み続けている



さらにそのまま俺を
水の中に引き込むと
馬乗りになって
そのままアナルSEXに
持ち込んできた

く...こいつ
まだ息がもつのかっ!



彼女は暴れる俺を抑え込み
平気で行為を続ける

く…苦しい!!
溺れる!!



ふうー！

後5秒くらいで
溺れるところだったよー

じゃー帰るね！

こんな感じで昔から
いいように使われてきた
おかげで妙な性癖を
持つに至ってしまった

こいつの溺れる
ところが見たいっ！

それに好き放題やられているのも
プライドが傷つく

えっ！
ちょ…ヒロくん？

俺は誰にも見つからないうちに
そのまま真琴を近くにある寮まで
強制的に連れて行く事にした

おかしいでしょ！
ヒロくん！

いいから
こっちこい！

ヒロ君は私とその気になった時に
好きにさせてくれる男の子なんだから！
こんな子に育てた覚えは…っ！

ほら
ここに入れ！

わあっ！！

サマッ



押さえてやるから
そのままオナニーしてみろ！

いつも一人で
そうやってるんだろ！

ん！

ん？

プッ

ん

ん



おっとこっちの穴が
足りてないか

そのまま
続けてろよー

うー！

アッ
アッ
アッ

アッ！

アッ



ほら！
どうした！

イクまで
息継ぎはナシなー！

ヒッ

アッ

ニッ

ヒッ

アッ

アッ



んん
おお
あん?

んんん...

んんん

んん

んんん

んんん

んん

んん

んん

おーし
よくできました
いい眺めだぞー!



絶頂に達してからも
真琴はそのまま
バスタブの底に
横たわったままだ

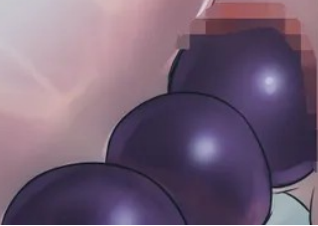
ゴッ...

ん...

が...

ん

ん





なんだ？
まだイキたりないのか？

それならもう1回
このまましてみろ！

ゴッゴッ...

びりびり

びりびり

びりびり



俺もついでに
こっちの穴で
よろしく!

あー

ゴッホ...

ゴッホ!

ゴッホ

ゴッホ

ゴッホ

ゴッホ

ゴッホ



意識を失いかけていた真琴に
僅かな呼吸をさせた後
再びバスタブに沈めて
プール内での行為の
続きをしてやる事にした







真琴の息が限界に
達するまで犯し続け
僅かな呼吸のみで
繰り返し彼女の体を食べた



ん？
どうした
もう上がって
いいぞー

腰が抜けてしまったのか
バスタブの底で
痙攣しながら
悶える真琴を
俺は上から眺めていた

ゴッ

た...たけ...

たけ...

...



グアッ...

ぐったりした真琴を
介抱するフリをして
そのまま縛り上げると
再びお湯の中へ沈めた

グアッ...



悪いなー
何度ヤッても
おさまらなくてなっ！

俺は絶妙にホースの先を
押さえながら
彼女の呼吸を
コントロールする

ゴッ...

やがて真琴は意識を失ってしまった



FR...

Eh...

Eh...

Eh...

Eh...

Eh...



その後も
無理やり意識を戻しながら
何度も何度も
SEXを続けー

びしょ...



そのまま
呼吸だけ確保して
朝までバスタブの底に
沈めておいた

FR...

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

3日後

人気のない海水浴場

うむ
くるしゅーない

まったくヒロ君は
勝手にアクティブになって
自我を持ちちゃいけないの

あの後
激おこだった真琴の
機嫌を取るために
二人で海水浴に行く事にした

分かるよねー？

私の言うことだけを
聞いて実行してればいいの！

……
まったくこのアマは
相変わらず上から目線な……





分かるかっ!

これでも
啜えてろ!

ハッ

ザッ



まだだぞー!
まだ耐えてろよー!

スッ
スッ
スッ
スッ
スッ

プッ...





ふー！
まあまあ良かったぞー

よし
このまま何秒もつか
数えてやるよ

いーち

に

よ

さ

うっ

うっ

うっ

うっ...



ひやくろーく

ひやくなーな

ん?
もう気を失ったのか

ちよつと数えるの
遅すぎたかな?

ん..

ん..

ん..



しょうがないので
もっと息が長く持つように
鍛えてあげる事にした

285...

290...

...295

ぐんぐん

まだまだぞー

27...

26...



がぼっ...!

げん...かい!

ザッ

まだたかが5分潜水を
連続15回したただけだろ!

次はもっと
長いからな!



... 300

310

... 320

... 325

330!

グズグズ

よし！
ついでに海の底まで行って
がんばってこい！

引っ掛けていた
ロープを外すと
真琴の体は
水深10Mあたりまで
沈んでいった

あぎゃ...!!

...おぼれ...
...おぼれ...
...おぼれ...

おぼれ

おぼれ

おぼれ





海の底でさらに1分近く
悶え苦しんだ後
静かになったようだ



真琴が言葉にならない
喚き声をあげている気がするが
気のせいだろう

!!
ゴムボート
!!

意識を取り戻した真琴を
ゴムボートに乗せて
沖まで移動し
そこからさらに深い海底に
沈めて楽しむ事にした

03:04

02:32

03:47

ん...

ん...

!



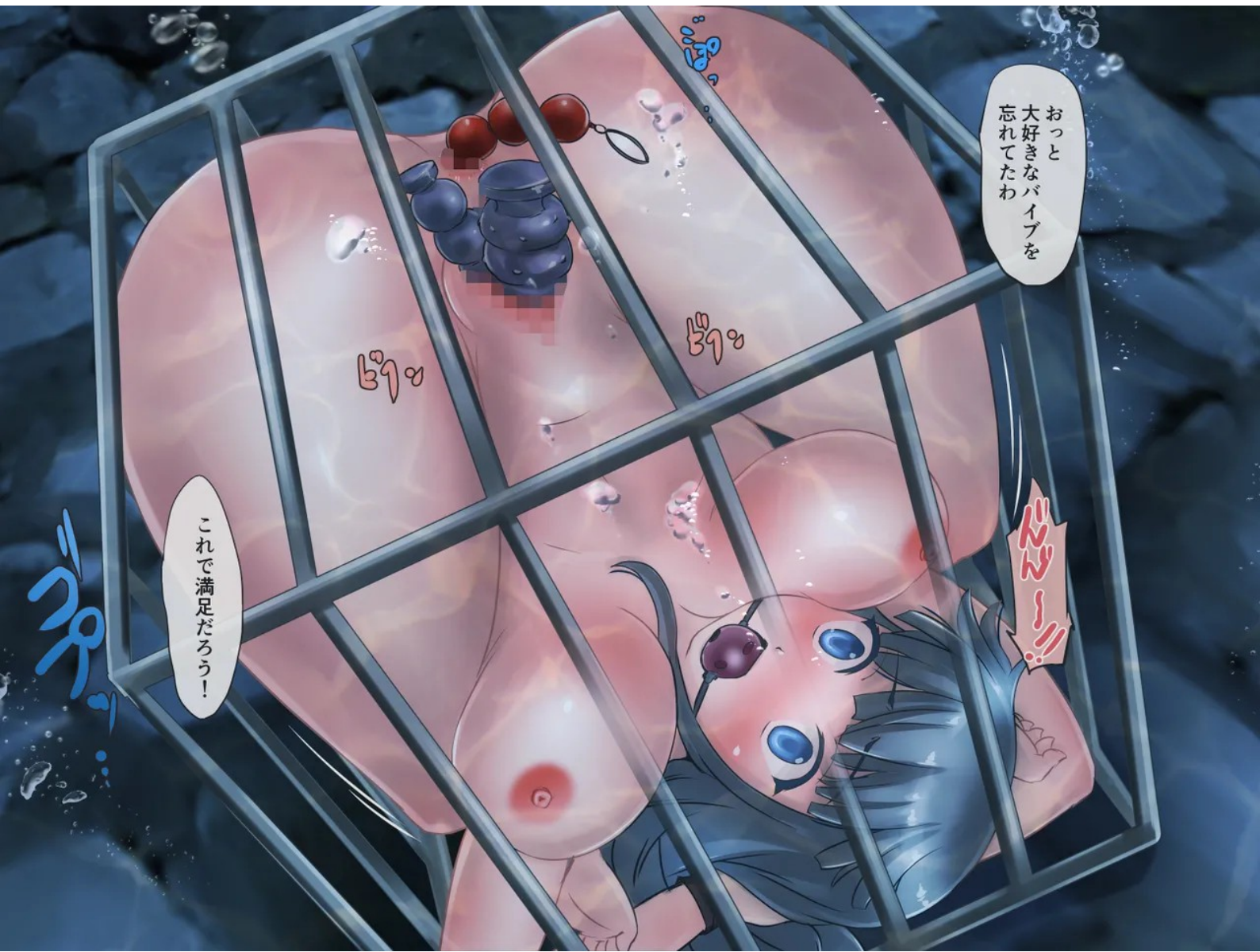




さらに目隠しや口枷を
つけてあげると
激しく嫌がるので
率先して付けてあげた

日も暮れていたので
海岸辺りに転がっていた檻に
真琴を閉じ込めて
その様子を観察することにした





おっと
大好きなパイプを
忘れてたわ

びびり

びびり

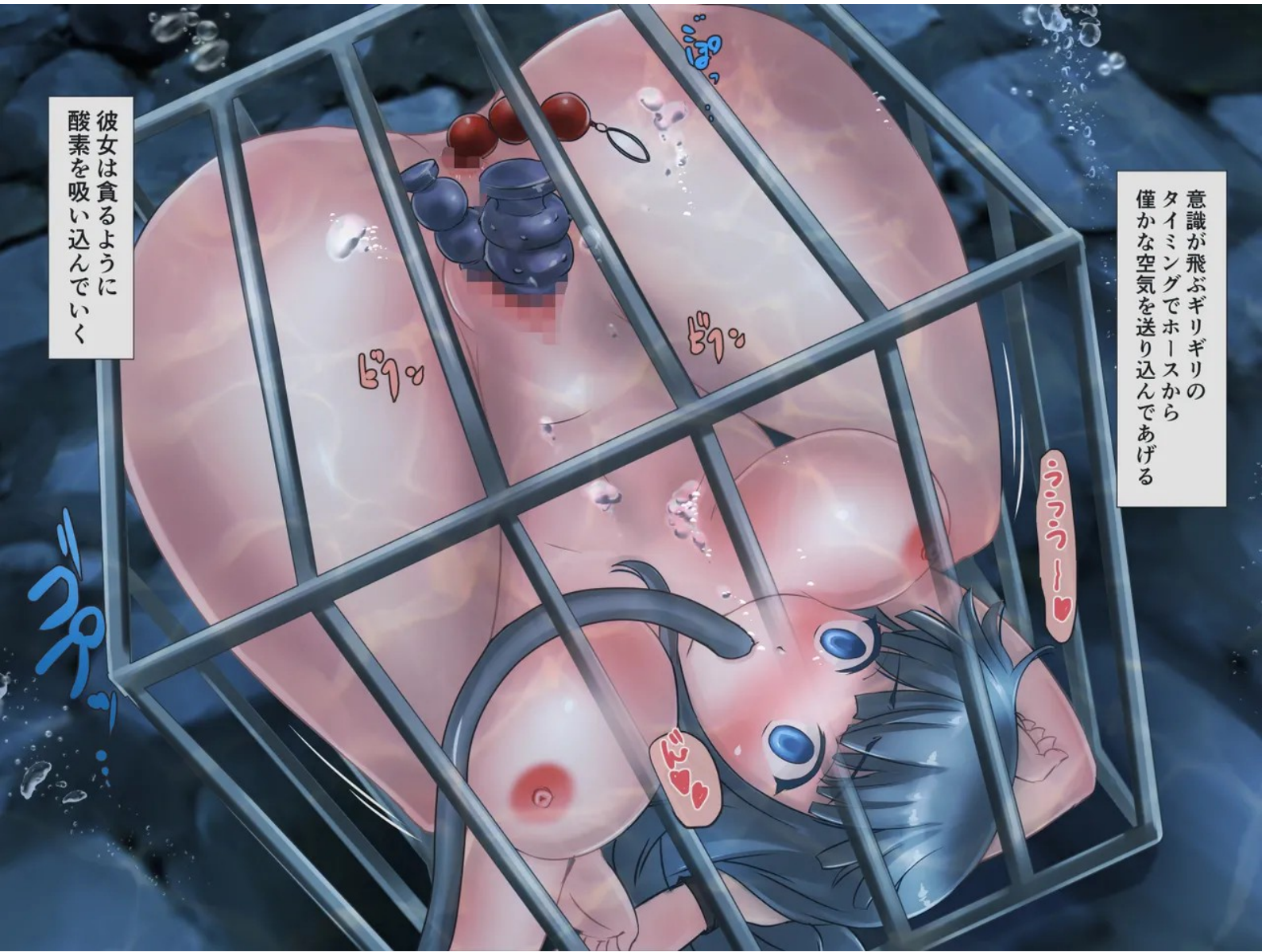
これで満足だろう！

んんん！！

びびり

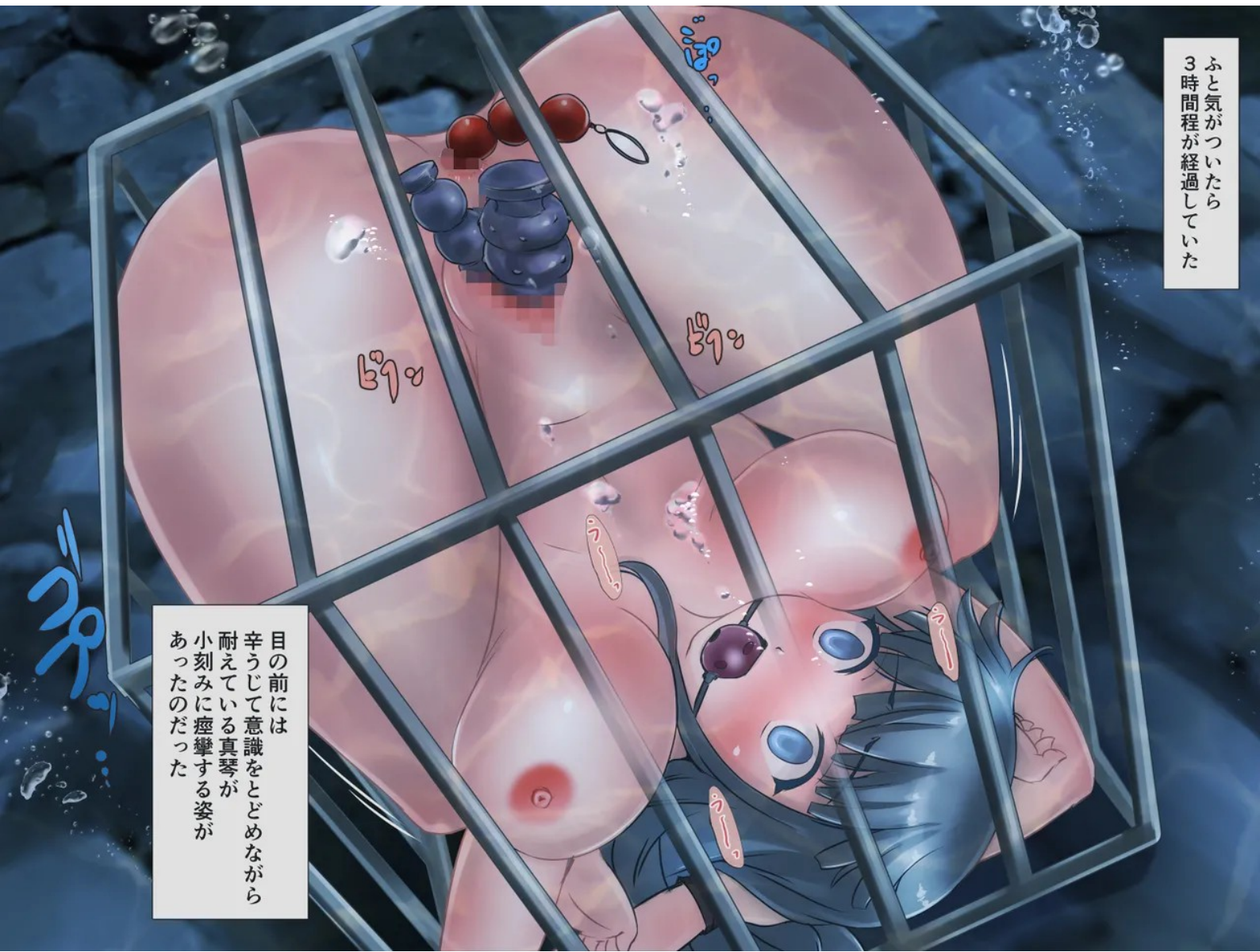
意識が飛ぶギリギリの
タイミングでホースから
僅かな空気を送り込んであげる

彼女は貪るように
酸素を吸い込んでいく



ふと気がついたら
3時間程が経過していた

目の前には
辛うじて意識をとどめながら
耐えている真琴が
小刻みに痙攣する姿が
あったのだった



2週間後

あれからほぼ毎日
真琴を海やプールに
連れ出して水責めを
繰り返しながら
犯し続けた



彼女も悦んでる
みたいなので
まあ大丈夫だろう



そうそう
毎回の水中デートの最後には
前回の息止め限界を越えよう
キャンペーンを展開中であり



ゴボホ...

自己記録を更新するまで
ひたすら責め続ける
事になっている

ものすごい苦しみ方をする
真琴は格別にかわいい

07:08

06:25

06:48

ゴボボ...





あーオシイ
あとちよつと
足りなかつたなー

まあ時間はたくさんあるから
何度でも挑戦させてあげるからね

07:28

ゴボボ...

07:28

ゴボボ...

























